**2019年度しおあなの森保育園事業報告**

堺中央共生会しおあなの森保育園が設立して8年目が終了した。今年度は21名が入園し、計142名でスタートした。また30名の子どもたちが、しおあなの森保育園で過ごした経験を胸にそれぞれの小学校へと巣立っていった。

**1．保育について**

今年度は幼児保育・乳児保育・食育・保健衛生・アレルギー・保育環境・障がい児保育・リスクマネジメント等の各主担職員、副担職員が年間計画を立て、それにもとづき実施、評価、改善を行った。園内研修で学んだゲーム遊びを通して、子どもたちは楽しみながら、ルールを守ったり、目標を達成するまで根気よく取り組んだりする力が育ちつつある。来年度はさらに「自分の思いを表現する力」「運動遊びを通して育む共感力、模倣力、発見力、判断力、対応力」を研修を通して学び、保育に活かしていきたい。

一年間の保育の成果、反省、課題を「年間まとめ」とし、今年度の課題を次年度の保育にいかすことで、連続した育ちを保証し、園の課題として、全体でも検討する機会を持っていきたい。去年度の「全体的な計画」をもとに保育会議を行い、「今を最も輝いて生きる」「自律した人間の基礎を身につける」「人権を大切にする」という3つの「めざす子ども像」を保育士会議で確認したことをもとに、各年齢が同じ方向性で保育を進めていきたい。また、しおあなの森保育園の保育内容を、よりわかりやすく保護者に発信していくことが必要である。

今年度の苦情件数は８件で、園長の対応についてが２件、保育士の対応が５件、、職員の対応が1件あった。保護者と園長、関係職員で話し合い解決することができた。今後も苦情や意見を言いやすい環境や人間関係を大切にし、苦情を受け付けた時は丁寧に説明をし、保護者に満足していただける園を目指していきたい。

**２．延長保育の利用について**

今年度は333件で昨年度に比べ283件減少した。年度により増減はあるものの、保護者の就労状況に伴う延長保育のニーズに応えていきたい。

**３．一時預かり**

　利用件数は4件であった。今後も様々な事情により、一時預かりを利用される家庭が増えると思われる。また、一時預かりの利用を通して、本園の保育を知っていただく機会にし、選ばれる保育園を目指していきたい。

**４．子育て支援**

毎月２回実施している園庭開放では延べ118世帯、子ども139名が参加された。季節感を大切にその時期に親子で遊べる「七夕制作」などのとりくみや、クリスマス会でサンタさんからプレゼントをもらった。引き続き管理栄養士と共に親子クッキング「ピーマン入り餃子ピザ」「手作り野菜ジャム（人参・りんご）」を2回実施し、今年度も好評であった。

**５．交流保育について**

　今年も地域の小学生、卒園児が放課後に来園して子どもたちと遊んでくれた。新湊小学校の「わくわく交流会」に参加し、小学校への期待を持てた子どもたちが多くいたが、3月は新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、交流は中止になった。秋には愛らいふに行き、お年寄りと触れ合い共に喜びあえる体験ができた。高校生の夢体験実習や、ボランティアの受け入れ、小学生、中学生の体験学習等で、子どもたちが様々な方と関わる機会になった。職員も外部の方に来ていただき、保育園の役割や子どもたちの姿を伝えることで、自身の職種にさらに誇りをもって保育をしていく力になった。

**７．研修について**

今年度は、「ボードゲーム」「安田式運動遊び」「つみき」の園内研修を行った。人権研修「わたしも大事、あなたも大事、みんな大事」（共愛こども園との合同研修）、「性的思考、性別自認の多様性」（陵西中学校での合同研修）、「堺人権保育フォーラム」（和太鼓演奏では保護者とともに参加）、「幼児教育」「子育て支援」「障がい児保育」（ともにキャリアアップ研修）等参加し、保育の質の向上に努めた。調理担当研修は計画していたが、職員体制の都合で参加できなかったので、来年度も計画する。来年度も、研修を通して、職員の資質向上と、共に学ぶ職場環境を大切に研修計画をしていく。